

県内の遺跡・遺物50

飯綱山古墳群（昭和47年 県指定）

遺跡所在地：南魚沼市大字余川字飯綱山

飯綱山古墳群は魚野川左岸の魚沼丘陵の緩斜面上に位置します。標高は約230mで、平野部との比高が約70mあります。丘陵上からは三国川扇状地や魚野川沖積地などの平野部、さらに国指定（昭和54年）史跡「坂戸城跡」のある坂戸山を眺めることができます。また北約1kmには蟻子山古墳群があります。

東西約250m、南北約300mの緩斜面上には、昭和初期の調査で大小100余基の古墳が存在していたといえます。しかし、その後の開墾や土地造成のため、現在は30基ほどに減っています。

古墳の形態は円墳で、直径10m前後、高さ1～2mの低い墳丘をもつものが多く、周溝を有するものも多数ありました。これらの古墳群の造営時期は古墳時代中期から後期で、5世紀後半から6世紀前半に比定されます。同時期の群集墳（初期群集墳）には高田平野西南部の天神堂、観音平古墳群があり、少数のやや大形の円墳と多数の小形の円墳から構成される点で類似しています。

飯綱山古墳群最大の古墳は墳丘径36mを測る10号墳（大塚古墳）と27号墳（男塚古墳）で、古津八幡山古墳（新潟市）に次ぎ県内第2位の規模です。副葬品としては、短甲・鉄銚・直刀・鉄鏃・馬具などのほか、勾玉・管玉・白玉・鏡、土師器・古式須恵器などが出土しています。

近年この丘陵裾周辺で、余川中道・金屋・北冲東遺跡といった古墳時代中期～後期にかけての集落の発掘調査が相次ぎ、飯綱山古墳群や蟻子山古墳群を造営した集団の集落ではないかと推定されています。

（写真・資料提供 南魚沼市教育委員会）



遺跡遠景（東から）



10号墳（大塚古墳）



短甲（保存処理したもの）

埋文にいがたNo.52

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒956-0845 新潟市金津93番地1
 TEL (0250) 25-3981
 FAX (0250) 25-3986
 e-mail: niigata@maibun.net
 URL: http://www.maibun.net
 印刷 阿部印刷株式会社